

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年03月18日

計画の名称	中央防災公園整備計画												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	海南市												
計画の目標	南海トラフ巨大地震などの大規模災害発生時に、迅速かつ円滑に災害応急対策、復旧・復興を進めていくための施設として機能する地域防災拠点（防災関係機関の活動拠点）、応急仮設住宅建設用地等に対応できる拠点を、災害対策本部となる市庁舎に隣接する位置に、予め整備することを目指す。 併せて、平常時には、海南市ならではの魅力と特色ある公園として、若者世代の賑わいを呼び込むとともに、高齢者の健康づくりやレクリエーション等の場として活用を図ることを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,767	A	1,767	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	大規模災害時に、平地への一時避難が可能な人数を、0人（H29）から54,000人（H35末）に引き上げる。 海南中央公園内に新たに確保した平地（㎡） / 一時避難に必要な面積（㎡/人） 海南中央公園内に新たに確保した平地（㎡） / 一時避難に必要な面積（㎡/人）	0人	人	54000人
2	海南中央公園（体育施設を除く）の来園者数を、152,000人（H29）から200,000人（H36）に引き上げる。 海南中央公園（体育施設を除く）の来園者数（人/年） 海南中央公園（体育施設を除く）の来園者数（人/年）	152000人/年	人/年	200000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	海南省	直接	海南省	-	-	(仮称)中央防災公園整備事業	海南中央公園における(仮称)中央防災公園の整備	海南省						1,147	15.70	-	
	A12-002	公園	一般	海南省	直接	海南省	-	-	(仮称)中央防災公園整備事業(5か年防公)	大規模災害時に復旧・復興の拠点となる(仮称)中央防災公園の整備	海南省						620	15.70	-	
											小計							1,767		
											合計							1,767		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	3	9	194	280	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	15	
交付額 (c=a+b)	3	9	194	265	
前年度からの繰越額 (d)	0	3	0	118	
支払済額 (e)	0	11	76	118	
翌年度繰越額 (f)	3	0	118	265	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	64	232	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	1	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	8.33	32.98	60.57	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			R3 補正予算執行に係る標準工期の確保が困難なため。	大幅な見直しが必要となり、設計業務に時間を要したため。	